

(4) 一日の流れ (晴天時)

時 間	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ・ あいさつをする。 ・ 靴を履き替える。 ・ 防寒着を片付ける。 ☆ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 ☆ 好きな遊びをする。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ つくって遊ぶ。 ・ 砂や水を使って遊ぶ。 ・ 自然と触れ合う。 ・ 絵本を見る。 など 【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話したりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 保育者に進んであいさつをしたり、友だち同士であいさつをしたりする姿を認め、あいさつをする気持ちよさを共に味わい、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 登園時の活動を自分でしようとする姿を見守り、必要に応じて言葉を掛けていきたい。 【つくって遊ぶ】 ☆ 空き箱やロールペーパー芯、牛乳パック、ストローなどを組み合わせて、自分のつくりたいものをつくる。 ☆ つくったものを使って、友だちや先生と一緒に遊ぶ。 ☆ 花紙でりぼんや色水をつくる。 ☆ 折り紙の本を見ながら好きなものを折る。 ★ つくりたいものをつくることできるように必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 「自分でやってみたい」という姿を見守り、励ましたり、必要に応じて手伝ったりする。 ★ 自分のつくったものを友だちや保育者に教えたいという姿を共感的に受け止め、じっくりと話を聞く。 ★ はさみやセロハンテープなどの安全な使い方について、遊ぶ様子を見守りながら、必要に応じて言葉掛けをする。 【絵本を見る】 ☆ 好きな絵本を選び、自分で絵や写真を見たり、先生に読んでもらったりする。 ★ 季節に合った絵本や、子どもの興味のある絵本を用意しておき、いつでも見ることができるようにする。 【砂や水を使って遊ぶ】 ☆ 砂に水を加えて、カレーやケーキなど自分の好きなものをつくったり、型抜きを使ってハンバーグやおにぎりをつくったりする。 ☆ つくったものをテーブルに並べ、保育者や友だちに振舞う。 ☆ トンネルを並べ、電車を走らせて遊ぶ。 ★ 砂と水が混ざる感触を十分に楽しみながら、様々なものをつくったり、見立てたりする楽しさを味わう姿を見守りたい。 ★ 色々なものをつくって楽しむ姿に共感しながら、保育者も客や仲間になって遊びに加わり、場を整えたり、必要な道具をそろえたりして遊びを盛り上げたい。 ★ 道具や場所の取り扱いなどで気持ちがぶつかる場面では、両者の話を聞き、自分なりの言葉で友だちに伝えることができるように援助したい。必要に応じて、交替で使ったり、順番を待ったりすることができるよう言葉掛けする。 【自然と触れ合う】 ☆ 風や水の冷たさ、吐く息の白さ、日なたの温かさに気付く。 ☆ 二十日大根やクロッカスの様子を見たり、水を掛けたりする。 ☆ ウサギやニワトリなどを見たり触ったり、餌をあげたりする。 ★ 遊ぶ中で、吐く息の白さや日なたの温かさに気付くことができるような言葉掛けを行い、冬ならではの自然の不思議さを一緒に味わうようにする。 ★ 保育者も一緒に、育てている植物に水を掛けたり、動物に餌をあげたり、体を撫でたりしながら、動植物への親しみをもてるような言葉掛けをする。 【環境構成】 (プレイルーム) 絵本コーナー 積み木 ピアノ (保育室) トイレ エ ピアノ オルガン ロッカー つくって遊ぶ 絵本を見る ごっこ遊びをする 植物に水をあげる (園庭) 砂場 砂や水を使って遊ぶ 砂場 固定遊具 固定遊具で遊ぶ 自然と触れ合う 飼育舎 固定遊具 池 ア ガムテープ、モール、花紙、塗り絵、ストロー、カップ、お面のわっか など イ 空き箱、牛乳パック、ソフト積み木 など ウ 絵本、ぬいぐるみ、ままごと道具、エプロン など エ ラジカセ、カセットテープ、タンブリン、カスタネット、すず、パズル など オ 水槽 (金魚) カ クロッカス、二十日大根 キ 砂場道具 (洗面器、スコップ、バケツ、皿、スプーン など) 【体を動かして遊ぶ】 ☆ 友だちや先生と一緒にあぶくたったやかくれんぼ、おにごっこなどをする。 ☆ ぶらんこや滑り台、木製遊具など、固定遊具を使って遊ぶ。 ☆ 長縄跳びをする。 ★ 保育者も一緒に遊び、体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさに共感する。 ★ かくれんぼやあぶくたったなどは、大人数で一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように保育者も仲間となり遊びたい。互いにルールを理解して遊べるように、必要に応じて説明したり、ルールを確認したりする。 ★ 遊具の安全な使い方など、必要に応じて話をしていく。 ★ 子どもの「見てほしい」という思いを大切に、長縄跳びや前回りなどできるようになったことを共に喜び合いたい。 ★ 衣服の調節や、手洗い・うがいを進んでする姿を見守り、自分でもその大切さを感じられるような言葉掛けをする。 【ごっこ遊びをする】 ☆ アニメの登場人物や家族など、自分のなりたい役になりきって遊ぶ。 ☆ エプロンなど遊びに使うものを身に付けて遊ぶ。 ☆ 年長児や年中児のお店屋さんごっこのお客さんになって遊ぶ。 ★ 遊びに必要なものを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 子どもたち一人一人のイメージを大切に、なりきって遊ぶ姿に共感しながら、保育者も客になったり、家族になったりして遊びに加わる。 ★ 友だちに自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ楽しさを感じている姿に共感するような言葉掛けをし、遊びがさらに広がるような援助をする。 ★ 保育者も一緒に年長児や年中児のお店屋さんごっこの客となり楽しみたい。必要に応じて、「これください」「ありがとう」などの言葉を自分で伝えることができるように言葉掛けしていきたい。
10 : 10	☆ 片付ける。
10 : 30	☆ 降園時の活動をする。 ・ 歌を歌う。 ・ 紙芝居を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週の予定を聞く。 【片付ける】 ★ 自分で遊んだ後の片付けを進んでやろうとする姿を認め、保育者も一緒に取り組みたい。 ★ 片付けた後、きれいになった気持ちよさを感じることができるような言葉掛けをする。 【降園時の活動をする 降園する】 ★ 手洗い・うがいをしたり、防寒着を着たりなどの降園準備を自分でできるように励ましたり、手伝ったりする。 ★ 子どもたちの興味のある歌や紙芝居を選び、みんなで歌ったり、紙芝居を見たりする楽しさを味わえるように工夫する。 ★ 楽しんで、先生や友だちの話を聞いたり、自分の思いを話したりすることができる雰囲気をつくる。 ★ 今日の遊びの様子を話題にしたり、次週の予定について話したりしながら、次週も期待をもって登園できるようにしたい。

(4) 一日の流れ (雨天時)

時 間	☆ 予 想 さ れ る 幼 児 の 生 活	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ・ あいさつをする。 ・ 傘やレインコート、防寒着を片付ける。 ・ 靴を履き替える。 ☆ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 ☆ 好きな遊びをする。 ・ つくって遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 自然と触れ合う。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ 絵本を見る。 など	【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話したりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 保育者に進んであいさつをしたり、友だち同士であいさつをしたりする姿を認め、あいさつをする気持ちよさを共に味わい、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 登園時の活動を自分でしようとする姿を見守り、必要に応じて言葉を掛けていきたい。 【つくって遊ぶ】 ☆ 空き箱やロールペーパー芯、牛乳パック、ストローなどを組み合わせて、自分のつくりたいものをつくる。 ☆ つくったものを使って、友だちや先生と一緒に遊ぶ。 ☆ 花紙でりぼんや色水をつくる。 ☆ 折り紙の本を見ながら、自分の好きなものを折る。 ☆ 粘土遊びやお絵描きをする。 ☆ 積み木で船や飛行機などをつくる。 ★ つくりたいものをつくることができるように必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 「自分でやってみたい」という姿を見守り、励ましたり、必要に応じて手伝ったりする。 ★ 自分のつくったものを友だちや保育者に教えたいという姿を共感的に受け止め、じっくりと話を聞く。 ★ 積み木など、異年齢児と一緒に遊ぶ姿が見られたときは、その楽しさに共感するような言葉掛けをする。 ★ はさみやセロハンテープ、積み木などの安全な使い方については、遊ぶ様子を見守りながら、必要に応じて言葉掛けをする。 【絵本を見る】 ☆ 好きな絵本を選び、自分で絵や写真を見たり、先生に読んでもらったりする。 ★ 季節に合った絵本や子どもの興味のある絵本を用意しておき、いつでも見るができるようにする。 ★ 一緒に絵本を見る中で、子どもたちが感じたことや気付いたことを話す姿を共感的に受け止め、絵本の楽しさを味わえるようにしたい。 【自然と触れ合う】 ☆ 風や水の冷たさ、吐く息の白さに気付く。 ☆ 二十日大根やクロッカスの様子を見る。 ☆ 雨が降る様子を見たり、雨粒をカップや袋に集めたりする。 ★ 風や水の冷たさ、吐く息の白さに気付くことができるような言葉掛けをする。 ★ 二十日大根やクロッカスの様子を一緒に見て、成長に気付くことができるような言葉掛けをする。 ★ 保育者も一緒に、雨が降る様子を見たり、雨粒を集めたりして、雨の日ならではの遊びを楽しみたい。子どもたちがつぶやく言葉を共感的に受け止めたい。 【環境構成】 (プレイルーム) 絵本コーナー 積み木 積み木で遊ぶ 体を動かして遊ぶ ピアノ (保育室) トイレ エ オルガン つくって遊ぶ ロッカー ア、イ、ウ、エ、オ、カ 絵本を見る ごっこ遊びをする 植物に水をあげる 自然と触れ合う (園庭) 砂場 キ 砂場 固定遊具 池 山 煙 飼育舎 固定遊具 ア ガムテープ、モール、花紙、塗り絵、ストロー、カップ、お面のわっか など イ 空き箱、牛乳パック、ソフト積み木 など ウ 絵本、ぬいぐるみ、ままごと道具、エプロン など エ ラジカセ、カセットテープ、タンブリン、カスタネット、すず、パズル など オ 水槽（金魚） カ クロッカス、二十日大根 キ 砂場道具（洗面器、スコップ、バケツ、皿、スプーン など） 【体を動かして遊ぶ】 ☆ 音楽に合わせて体を動かしたり、楽器をならしたりする。 ☆ 跳び箱の上からジャンプしたり、跳び越えたり、マットの上を転がったりする。 ★ 室内でも体を動かして遊ぶことができるように場を確保する。出入りが多く、子どもたちの動きが混雑するので、子どもの動きに目を配り、安全に過ごせるようにする。 ★ ラジカセやカセットテープを準備しておき、音楽に合わせて踊ったり、体を動かして遊んだりして楽しさを味わえるようにする。 ★ 子どもの「見てほしい」という思いを大切にし、できるようになったうれしさに共感するような言葉掛けをする。 ★ 衣服の調節や、手洗い・うがいを進んでする姿を見守り、自分でもその大切さを感じられるような言葉掛けをする。 【ごっこ遊びをする】 ☆ アニメの登場人物や家族など自分のなりたい役になりきって遊ぶ。 ☆ エプロンなど遊びに使うものを身に付けて遊ぶ。 ☆ 年長児や年中児のお店屋さんごっこのお客さんになって遊ぶ。 ★ 遊びに必要なものを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 子どもたち一人一人のイメージを大切にし、なりきって遊ぶ姿に共感しながら、保育者も客になったり家族になったりして遊びに加わる。 ★ 保育者も一緒に年長児や年中児のお店屋さんごっこの客となり楽しみたい。必要に応じて、「これください」「ありがとう」などの言葉を自分で伝えることができるように教えていきたい。
1 0 : 1 0	☆ 片付ける。	
1 0 : 3 0	☆ 降園時の活動をする。 ・ 歌を歌う。 ・ 紙芝居を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週の予定を聞く。	【片付ける】 ★ 自分で遊んだ後の片付けを進んでやろうとする姿を認め、保育者も一緒に取り組みたい。 ★ 片付けた後、きれいになった気持ちよさを感じることができるような言葉掛けをする。 【降園時の活動をする 降園する】 ★ 手洗い・うがいをしたり、防寒着を着たりするなどの降園準備を自分でできるように励ましたり、手伝ったりする。 ★ 子どもたちの興味のある歌や紙芝居を選び、みんなで歌ったり、紙芝居を見たりする楽しさを味わえるように工夫する。 ★ 楽しんで、先生や友だちの話を聞いたり、自分の思いを話したりすることができる雰囲気をつくる。 ★ 今日の遊びの様子を話題にしたり、次週の予定について話したりしながら、次週も期待をもって登園できるようにしたい。
1 1 : 0 0	☆ 降園する。	